

伊丹市総合交通計画 (中間改定版) 令和6年度進捗状況の評価(案)

令和7年度第1回伊丹市総合交通会議(進捗管理部会)

日時:令和7年8月5日(火)10時～
場所:伊丹市役所 1階 101会議室
都市交通部交通政策室交通政策課

基本目標1 快適な移動を支える都市環境の整備

1.基本戦略

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】の5段階評価

1-① 自転車の安全・快適な利用の促進(6施策)

◆進捗状況が【予定通り】の施策 6施策

- ・自転車通行空間の整備[1] ・自転車駐車場の計画的な保全[2]
- ・自転車安全利用に関する啓発[3]
- ・自転車安全利用啓発指導員による啓発・指導[4]
- ・警察による指導強化[5] ・自転車保険の加入推奨[6]

1-② 安全・快適で歩いて元気になるみちづくり(6施策)

◆進捗状況が【予定通り】の施策 6施策

- ・歩行者通行空間の整備[7] ・無電柱化の推進[8]
- ・街路樹の適正な管理[9] ・歩行者ネットワークの強化[10]
- ・安全・安心見守りネットワーク事業の推進[11]
- ・通学路・生活道路の安全対策[12]

1-③ 目的や役割に応じた効率的な道路整備(5施策)

◆進捗状況が【予定通り】の施策 5施策

- ・都市計画道路の整備[13] ・渋滞交差点の解消・緩和[14]
- ・橋梁等の計画的な保全[15]
- ・名神湾岸連絡線等の整備推進[16] ・被災時の輸送路確保[17]

1-④ 環境に配慮した交通まちづくり(4施策)

◆進捗状況が【予定通り】の施策 4施策

- ・環境負荷の少ない道路整備の推進[18]
- ・スマートムーブの推進[19] ・自転車通勤の促進[20]
- ・グリーン経営の促進[21]

2.評価指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標	性質	H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R6	R6 評価	
自転車レーン等 整備区間延長 (km)	↑	目標	—	9.0	9.4	10.5	12.2	△
		実績	7.8	9.0	9.2	9.5	9.9	
市営自転車駐 車場利用台数(台/ 日)	↑	目標	—	6,064	6,331	6,598	6,865	△
		実績	6,865	5,999	6,370	6,680	6,777	
交通安全教室の 参加者数(人/年)	↑	目標	—	6,300	6,350	6,400	6,450	△
		実績	6,258	4,322	4,716	4,779	5,014	
自転車関連事 故件数(件/年)	↓	目標	—	396	377	357	337	◎
		実績	420	238	184	160	172	
人口1万人当 たりの自転車 関連事故件 数(件/年)	↓	目標	—	20	19	18	17	◎
		実績	21	12	9	8	9	
歩道(街路樹)再 整備延長(km)	↑	目標	—	0.6	1.5	2.2	2.4	△
		実績	0	0.4	0.4	1.5	1.7	
都市計画道路 整備率(%)	↑	目標	—	88.7	88.9	89.0	89.1	○
		実績	88.1	88.6	88.8	89.0	89.0	
大気汚染に関 する環境基 準達成率(二 酸化窒素N O ₂)(%)	=	目標	—	100	100	100	100	◎
		実績	100	100	100	100	100	

基本目標1 快適な移動を支える都市環境の整備

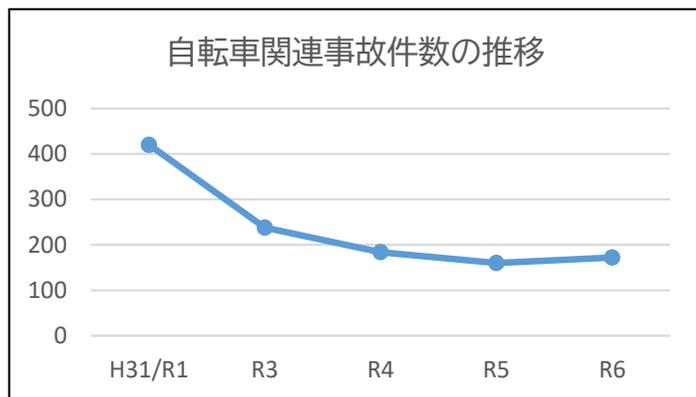
3.主な実施施策

【令和6年度交通安全功労者表彰を受賞】

伊丹市において課題であった自転車関連事故について、街頭啓発活動等を推進した結果、令和元年と令和5年を比較すると、事故件数は56.3%、負傷者数は59.2%減少しました。

これらの功績が、地域社会における交通安全思想の普及又は交通安全の確保に特に顕著なものであると評価され、内閣府の令和6年度交通安全功労者(交通対策本部長)表彰を受賞しました。

<受賞式の様子>



【改正道路交通法の施行(令和6年11月1日)】

自転車運転中の携帯電話使用等に起因する交通事故が増加傾向であることや、自転車運転中の酒気帯び状態で運転した際の交通事故が死亡・重傷事故となる場合が多いことから、交通事故抑止のため、改正道路交通法により新しく罰則規定が整備されました。

伊丹市では、広報紙「広報伊丹」や啓発チラシにおいて自転車の交通ルールについての情報発信や交通安全イベントでの交通安全啓発グッズの配布などを通じて、交通安全意識の向上と交通事故の削減を図りました。

<広報伊丹>



<兵庫県警察 自転車安全利用チラシ>



基本目標1 快適な移動を支える都市環境の整備

4. 関連施策

【園田西武庫線(御園工区)の開通】

園田西武庫線は、国道2号、国道43号等の東西主要幹線道路を補完する道路として、都市計画に位置付け整備が進められています。

園田西武庫線御園工区は、平成9年度に着工し、長期にわたる整備事業として進められてきましたが、令和7年3月23日に御園工区(約0.9km)が開通しました。

開通後1ヶ月時点での主な整備効果としては、周辺道路の交通がスムーズになったこと及び利用者の喜びの声が届いていることなどが挙げられています。

<主な整備効果>

- ・南町4丁目交差点(西行き)最大渋滞長
【開通前】430m → 【開通後】50m
- ・ピッコロシアター南交差点(西行き)最大渋滞長
【開通前】400m → 【開通後】90m

位置図

園田西武庫線 御園工区



5. 計画の進捗に対する評価

●ソフト対策

市、警察、関係団体が連携した自転車関連事故に係る街頭啓発活動等の取り組みが行われており、「自転車関連事故件数」が本計画の目標値を達成する等、効果があらわれています。

これらの取り組みの結果、令和元年度と比較して、事故件数、負傷者数が大幅に減少した功績が評価され、内閣府より**令和6年度交通安全功労者表彰**を受賞しました。

また、令和6年11月1日に施行された**改正道路交通法**において、「自転車運転中の携帯電話使用等」の禁止に加え、「自転車運転中の酒気帯び運転の罰則規定」が整備されたことから、市、警察等が新たな罰則についてチラシや広報紙での周知を行うなど、引き続き、自転車安全利用に関する啓発を行う必要があると考えられます。

●ハード対策

駄六大橋など橋梁の耐震補強・修繕工事を推進し、災害時における通行経路の確保に努めるとともに、施設の長寿命化を図る取り組みを進めました。また、森本8030号線における歩道の再整備や、JR伊丹駅と接続する中央天津線(東西連絡橋)に点字ブロックを設置するなど、視覚障害者を含め、誰もが安全で歩きやすい歩行空間の整備も進めています。

また、令和7年3月23日に**園田西武庫線御園工区の開通**により、周辺交差点の渋滞が緩和されるなど、整備効果があらわれています。

基本目標2 交流を支える公共交通の充実

1. 基本戦略

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】の5段階評価

2-① 公共交通の利便性向上(9施策)

- ◆進捗状況が【完了】の施策 1施策
 - ・バス位置情報提供サービスの研究[29]
- ◆進捗状況が【予定通り】の施策 8施策
 - ・わかりやすい乗換案内の推進[22]
 - ・駅構内での安全性の確保[23]
 - ・バス停留所の整備[24]
 - ・バス停留所隣接の自転車駐車場整備の検討[25]
 - ・空港へのアクセス確保[26]
 - ・需要に応じた路線および運行ダイヤの研究[27]
 - ・新たな都市間交通の研究[28]
 - ・自動運転技術活用の研究[30]

2-② 公共交通の利用促進(7施策)

- ◆進捗状況が【予定通り】の施策 7施策
 - ・公共交通利用に関する啓発[31]
 - ・公共交通や商業事業者、イベント等と連携した公共交通の利用促進[32]
 - ・高齢者等への市営バス特別乗車証等の交付[33]
 - ・市営バスオリジナルグッズの製作・販売[34]
 - ・市営バス事業の経営基盤の強化[35]
 - ・阪神都市圏公共交通利用促進協議会との連携[36]
 - ・兵庫県地域公共交通MaaS推進協議会との連携[37]

2-③ 高齢者等の移動手段の確保(4施策)

- ◆進捗状況が【予定通り】の施策 4施策
 - ・高齢者等への市営バス特別乗車証等の交付[再掲33]
 - ・高齢者、障がい者の外出支援[38]
 - ・高齢者等の移動手段の研究[39]
 - ・新しい移動手段の研究[40]

2. 評価指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標	性質	H31/R1 (現状)	R3	R4	R5	R6	R6 評価
市営バス利用者数 (万人/年)	目標	—	1,527	1,527	1,527	1,527	△
	実績	1,527	1,191	1,263	1,321	1,293	
鉄道乗降客数 (人/日)	目標	—	72,240	82,560	92,880	103,200	△
	実績	103,200	87,087	91,497	95,225	95,135	
交通局営業収支率(%)	目標	—	90	90	90	90	△
	実績	90	76	80	81	85	

基本目標2 交流を支える公共交通の充実

4. 関連施策

【阪急電鉄におけるYYSystemの導入】

阪急電鉄では、インバウンドのお客様や聴覚に障がいのあるお客様がよりご利用しやすい駅の実現を目指し、31か国の言語に対応した、人工知能(AI)を活用して会話をリアルタイムで翻訳し、ディスプレイに表示させるリアルタイム音声認識システム「YYSystem(ワイワイシステム)」を、令和6年10月に阪急大阪梅田駅に導入しました。

本システムの導入場所は順次拡大を予定しています。

<導入イメージ>



5. 計画の進捗に対する評価

「市営バス利用者数」が目標値を達成していないものの、「交通局営業収支率」が改善されるなど、需要に応じた効率的なサービス提供の効果があらわれています。

公共交通の利便性向上の取り組みでは、阪急電鉄が、**インバウンドのお客様や聴覚に障がいのあるお客様が利用しやすい駅の実現**に向け、31か国の言語に対応したリアルタイム音声認識システム「YYSystem(ワイワイシステム)」を、令和6年10月に阪急大阪梅田駅に導入するなどわかりやすい情報提供の充実に寄与する取り組みが進められています。

また、公共交通の利用促進の取り組みでは、伊丹市在住の小学生を対象に、伊丹市営バス・阪急バス・阪神バスの対象路線が1,000円で乗り放題になる**「いたみっ子おでかけパス」**の販売や伊丹市交通局のオリジナルマスコットキャラクターの発表などが行われ、**次世代のバス利用者の獲得や隠れた需要の掘り起こし**に繋がる取り組みであると考えられます。

引き続き、自動運転バスの社会実装など、将来に向けた調査・研究を進めるとともに、運転士不足をはじめとする地域公共交通が直面する課題解決に向け、取り組む必要があると考えます。

基本目標3 地域資源と市民力を活用した交通まちづくり

1. 基本戦略

【予定を上回る】【予定通り】【予定を下回る】【未着手】【完了】の5段階評価

3-① 空港を活かしたまちづくり(4施策)

◆進捗状況が【予定通り】の施策 4施策

- ・空港へのアクセス確保[再掲26]
- ・わかりやすい乗換案内の推進[再掲22]
- ・空港の利便性の向上[41]・空港利用者の誘導[42]

3-② 中心市街地回遊性の向上(4施策)

◆進捗状況が【予定通り】の施策 4施策

- ・無電柱化の推進[再掲8]
- ・駐車場の計画的な保全[43]
- ・公共施設や商業事業者、イベント等と連携した公共交通の利用促進[再掲32]
- ・新しい移動手段の研究[再掲40]

3-③ 中心市街地における自転車等の放置の防止(4施策)

◆進捗状況が【予定通り】の施策 4施策

- ・自転車駐車場の計画的な保全[再掲2]
- ・自転車駐車場の利用促進[44]
- ・放置自転車等の啓発・指導[45]
- ・放置自転車等の撤去強化[46]

3-④ 市民とともに作る交通まちづくり(5施策)

◆進捗状況が【予定通り】の施策 5施策

- ・民間事業者との連携による交通安全啓発[47]
- ・高齢者運転免許自主返納の周知・推進[48]
- ・自転車安全利用啓発指導員による啓発・指導[再掲4]
- ・利用者の声を反映した市営バスの運営[49]
- ・交通政策に対する意見聴取[50]

2. 評価指標

「◎」目標を上回る 「○」概ね目標通り 「△」目標を下回る

評価指標	性質	H31/R1	R3	R4	R5	R6	R6 評価
		(現状)					
空港線バス乗降客数(千人/年)	↑ 目標	—	226	283	340	396	◎
	実績	566	278	352	416	418	
中心市街地4エリアにおける1日あたりの流動人口(4エリア合計)	↑ 目標	—	102,000	112,200	123,420	135,760	△
	実績	168,064	99,190	96,918	104,460	111,775	
観光入込客数(千人/年)	↑ 目標	—	3,100	3,100	3,100	3,100	△
	実績	2,738	1,931	2,498	2,365	2,510	
放置自転車等台数(台/日) ※特定日における台数	↓ 目標	—	120	119	118	117	◎
	実績	120	58	38	56	77	
人口1万人当たりの交通事故発生件数(件/年)	↓ 目標	—	49	48	47	46	◎
	実績	50	34	25	22	23	
高齢者交通事故発生件数(件/年)	↓ 目標	—	310	300	290	280	◎
	実績	328	209	153	140	148	

基本目標3 地域資源と市民力を活用した交通まちづくり

3.主な実施施策

【空港アクセスバスの利用啓発】

大阪国際空港(伊丹空港)でのイベント(空の日、雪まつり)にて、「清酒発祥の地伊丹」及び日本遺産「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷」のPR事業と連携したイベントブースを設置し、イベント来場者に向けた空港アクセスバスの利用促進を図りました。

また、JR宝塚線利用者へ向けた空港アクセスバス利用PR看板のデザインの更新やビジネス利用者へ向けた空港アクセス利用PRチラシを伊丹商工会議所、尼崎商工会議所及び宝塚商工会議所の会報に同封するなど、ターゲットを絞ったPRを行いました。

<空の日>



<空港アクセスバス利用PR看板>



<空港アクセスバス利用PRチラシ>



【地域イベントと市バスの連携】

令和5年度に引き続き、「伊丹まちなかバル」のチケットに、「優待割引乗車券」を付けての発売や、伊丹グリーンジャムに合わせて臨時便を運行する等、伊丹市内のイベントと連携した取り組みが行われました。



4.計画の進捗に対する評価

「空港線バス乗降客数」が目標値を達成するなど、伊丹市の地域資源である空港を活かしたまちづくりの取り組みの効果があらわれています。

空港アクセスバス利用をPRする看板デザインの更新や、伊丹商工会議所に加え、尼崎商工会議所及び宝塚商工会議所の会報にPRチラシを同封するなど、**近隣市の市民に対する空港アクセスバスの利用促進**に繋がる取り組みが進められています。

一方、「放置自転車等台数」が目標値を達成しているものの、昨年度に引き続き実績値が増加していることから、**効果的な放置自転車等の啓発・指導等について検討が必要**であると考えられます。